

## (公社) いわき青年会議所 事務局運営方針 (案)

事務局長 松本 裕亮

1 いわき J C は、これまで地域社会の発展や問題解決のために多くの活動や運動を続けて  
2 きました。これからもこの会がいわき J C の諸先輩方の熱い想いと歴史そして伝統を受け  
3 継ぎ、環境の変化にいち早く順応し先の時代を見据えた、地域にとって必要不可欠な法人  
4 組織となるためには、全会員が楽しくそして共に学び成長し合い、卒業までに地域に根差  
5 し率先して行動できるイノベーション人財になっていけるよう環境整備の構築が重要です。  
6 そのためにまずは、平コミュニティ会館の適切な使用管理について、会員に向けての周  
7 知徹底が必要だと考えます。会館は諸会議を行い、現在抱える課題や問題を洗い出し会員  
8 同士が意見を出し合い交流し、成長していく学び舎であることを深く認識していただくた  
9 めに、会議後の机や椅子の再配置だけではなく 10 分程度の清掃を定着化させていきます。  
10 そして、諸会議が効率的に行える環境を創り上げるために年間スケジュール・各議案上程  
11 スケジュールの管理や調整を徹底し、753 システムを定着化させます。さらに専務理事  
12 をサポートするため事務局員と財政局との連携を密に図り、各種会議の運営、資産備品の  
13 管理、各種登記、厳格な法人経営のための一般業務に従事します。また、いわき J C の最  
14 高意思決定機関である総会を、全会員に対し重要性・必要性を伝え積極的な参加を促し適  
15 正な資料配信を行い、厳粛かつ円滑な会運営に努めます。そして、いわき J C がこの地域  
16 に根差し市民と共に活動や運動を続けていくにあたり、地域貢献活動への参加を全会員に  
17 促進し地域の方々とのコミュニケーションを通じて、会に対する理解を深めていきます。  
18 いわき J C の組織体制がいままで以上に強固なものとなり、そして会員一人ひとりの意  
19 識が向上し思いが一つになることにより、いわき J C は会員個人・会員の家族・市民・地  
20 域にとって必要不可欠な法人組織となり、活気に溢れた持続可能ないわきへと進化します。

21

22 <運営方針>

- 23 1. 各種会議の運営
- 24 2. 総会の運営
- 25 3. 法人経営の一般業務
- 26 4. 会館の清掃と維持管理